

◎基本情報

事務事業名	国際・国内交流推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	昭和	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			49 年度	
(小項目)		国際・国内交流		終期	未定	
施策	3	国際・国内交流の推進				
基本事業	1	交流のひとづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市民及び姉妹都市をはじめとする友好都市														
事業計画	30年度に何を計画していたか	・第22回リユーネブルク市親善使節団の受入れ ・中国友好都市などとの交流を図る。 ・国内親善都市会津若松市との交流事業の実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>60</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	60	58	60	58	60	%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	60	58	60	58	60	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第22回リユーネブルク市親善使節団を迎え、日独市民交流会などの滞在プログラムをとおして両市民の友好交流の場を創出した。また、市内の中学3校・高校2校の協力を得て、リユーネブルク市青少年のホームステイや授業参加を行い、若い世代の交流も深まった。 張家界市人民代表大会主任をはじめとする訪問団が来鳴し、市議会等との意見交換や観光資源の視察を行うなど、互いの都市について理解を深めあった。																																							
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度目標</th> <th>2年度目標</th> <th>3年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td>1</td> <td>親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標</td> <td colspan="2">使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市</td> <td>66</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">目標達成率(実績/目標)</td> <td>93.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	32	54	35	35	人		2	使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	12	11	12	12	人	成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市		66	54	—	—	%		目標達成率(実績/目標)		93.1	—	—	—	%
指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位																																			
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	32	54	35	35	人																																		
	2	使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	12	11	12	12	人																																		
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市		66	54	—	—	%																																		
	目標達成率(実績/目標)		93.1	—	—	—	%																																		
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり																																						

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	300	4,537	4,837
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	300	4,537	4,837
		決算額	0	0	0	300	2,416	2,716
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費	
		3.0	0.0	21,963	24,679			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	4,541	2,716	10,161	10,161	10,161
	うち一般財源	3,541	2,416	10,161	10,161	10,161
	人件費	21,702	21,963	21,963	21,963	21,963
	総事業費	26,243	24,679	32,124	32,124	32,124

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		滞在プログラムを通して市民同士の交流を創出するとともに、青少年のホームステイや授業参加により国際理解の醸成を図った。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リュ市／鳴門市		前回に続き、リュネブルク市から青少年11人を含む多くの使節団が来鳴し、そのうち新規参加者が5割を超え、交流の広がりを見せている。また、過去に青少年参加者として来鳴した使節団員が、大人の使節団員として家族とともに再び来鳴し、継続した交流の成果が現れている。
	目標	58	%	
	実績	54	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		リュネブルク市から多くの親善使節団が来鳴し、あらゆる世代で多くの両市民が交流を深めることができた。また、張家界市との継続した交流も促進されている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流においては、これまで第一線で交流に参加していた市民の高齢化が懸念される。現役で働く世代にも参加しやすいよう、日程や旅行費用などを考えなおしていく必要がある。</li> <li>中国友好都市との交流については、今後、広く市民を巻き込んだ友好交流促進への取組が必要である。</li> </ul>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	第23回鳴門市親善使節団を派遣し、リュネブルク市民との交流を深める。青少年の派遣を継続して行うとともに、現役で働く世代(20代～50代)にも参加しやすいツアーになるよう検討する。張家界市との友好交流については、引き続き情報発信等を行うとともに、様々な分野において交流が図れるよう検討を行う。			
	R2年度	第23回リュネブルク市親善使節団を迎え、鳴門市民との交流を深める。青少年参加者については、市内の中学校・高校での授業参加やホームステイを行う。張家界市との友好交流については、引き続き情報発信等を行うとともに、様々な分野において交流が図れるよう検討を行う。			